

令和2年度 入学案内

愛媛県立松山東高等学校

通信制課程(単位制)

通信制高等学校とは

通信制高校の大きな特徴は、「通信による教育を行う」ことです。レポート学習とスクーリング（授業）を中心に学習するため、登校回数などが全日制・定時制より少ないですが、卒業の際に得られる高校卒業資格は同じです。単位制を導入しているため、科目を選択して受講することができます。「自分のペースで学習したい。」「スキルアップのために、高校卒業の資格が欲しい。」など学ぶ意欲のある人に適した学校です。

本校は、県内唯一の公立の通信制高等学校として昭和23年に発足し、既に約6,300名の卒業生を送り出しています。知識、経験ともに豊かな先生たちが生徒の学びをサポートします。



修学補助

通信制における修学がスムーズに行われるように、国や県から次のような補助が受けられます。

通信教育用郵便物の郵便料金

通信教育用としてのレポート等の郵便は、通常の郵便料金より割安になっています。例えば100g(レポート約4通分)までは15円です。

教科書・学習書の給付

有職等、一定の条件を満たし、給付を希望する場合、関係書類を提出し、給付対象者として認定されれば、学校で使用する教科書と学習書が無償で給付されます。

愛媛県奨学資金の貸与

修学が困難な生徒は、選考により各種奨学資金が受けられます。
例：愛媛県奨学生（無利子）

就学支援金制度

授業料への支援として、受給資格要件を満たす世帯に就学支援金が支給されます。支援金を受け取るには、申請が必要となります。

学び直し支援金制度

高校を退学したことがある生徒は、就学支援金の支給終了後、引き続き学び直し支援金が支給されます。就学支援金と同様の申請が必要となります。

奨学のための給付金

保護者等全員の市町村民税所得割額が非課税の世帯は、授業料以外の教育費を支援することを目的とした奨学のための給付金が支給されます。こちらの制度も申請が必要となります。

所得税控除

給与所得がある者で、年収130万円以下の場合、勤労学生控除が適用され、学校の証明があれば所得税が減税されます。なお、学校側が発行できる証明は在学証明書のみとなります。

学習はどのように進めるか

通信制での学習は、全日制・定時制とは異なり年間の出校日数が少ないため、自宅で、教科書・学習書、その他の補助教材をもとに、自学自習を進めていくことが中心になります。したがって、各科目ともレポート・スクーリング・試験を基本に学習を進めていきます。勉強に不安がある人も基礎から学習を積み重ねることができるように、担任や教科担当がサポートします。

1年次は、本校で指定した必修科目を中心に学習します。
2年次以降は、必修科目に加え、自分で学習する科目を選択して学習します。

| | | |
|-----|--------|---|
| 1年次 | 共通必修科目 | 国語総合 倫理 政治・経済 数学 I 科学と人間生活 体育 1 保健 コミュニケーション英語 I |
| | 選択必修科目 | 芸術（「音楽 I」「美術 I」「書道 I」から 1 科目） |

| | | |
|-------|--------|---|
| 2年次以降 | 共通必修科目 | 世界史 A 体育 2 体育 3 家庭総合 社会と情報 |
| | 選択必修科目 | 地理歴史（「日本史 B」「地理 B」から 1 科目） 理 科（「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から 1 科目） |
| | 選択科目 | 現代文 B 古典 B 数学 II 数学 A コミュニケーション英語 II 英語表現 I 農業と環境 草花 ビジネス基礎 簿記 フードデザイン ※選択必修科目のうち、選択しなかった科目 |
| | 共通必修 | 通教の時間（総合的な学習の時間・総合的な探究の時間） |

※教育課程の移行に伴い、科目名が変更になることがあります。

特別活動

ホームルーム活動・学校行事・生徒会活動のことです。開講日数の少ない通信制では、生徒間の交流を深めるため、次のような特別活動を実施しています。卒業までに 30 時間以上出席する必要があります。

前期

4月 入学式・開講式
地区開講式
5月 遠足、交流学习会
7月 生活体験発表
9月 定通総体

後期

10月 後期入学式、運動会
11月 遠足、修学旅行（隔年開催）
球技大会
12月 生徒総会
3月 卒業式・閉講式

友垣通信

ホームルーム活動の少ない通信制では、学校と生徒とをつなぐ大切な連絡紙として『友垣通信』を毎月送ります。学習を進める上での注意事項等を掲載しています。

単位修得にいたるまでと卒業条件

レポート学習

レポート学習とは、学校から送られてきた各教科・科目のレポートを、教科書や学習書などで自学自習し、添削指導を受けることです。提出回数は、科目によって異なります。通信制教育における学習活動の中心であり、締め切り厳守です。

スクーリング

スクーリングとは、自学自習から生じる不足を補い、学習の成果をあげるために科目の指導を受けたり、特別活動などに参加したりすることです。必要な出席時間数は科目によって異なりますが、年間に25～30日程度の登校が必要です。

| | |
|-----|------------------------------------|
| 実施日 | 日曜・・・本校または協力校 火曜・・・本校のみ |
| 場所 | 本校：松山東高校 協力校：新居浜西・今治西・大洲・宇和島東高校 |

レポートの合格・スクーリング時間数の充足

試験

学習成果を確認する試験。前期(8・9月)、後期(1・2月)の2回実施します。レポートの合格とスクーリング時間数を満たさなければ受験できません。

単位修得

試験を受け、評点が30点以上であればその科目の単位が認定されます。

卒業の条件

- ① 修得単位数 74単位以上(「通教の時間」3単位を含む。)
- ② 修業年限 3年以上
- ③ 特別活動出席時間数 30時間以上

卒業後の進路

<平成30年度進学状況>

4年制大学 岡山大学医学部、愛知県立大学外国語学部、聖カタリナ大学、川崎医療福祉大学、近畿大学理工学部他

短期大学 松山東雲短期大学、今治明德短期大学、岐阜市立女子短期大学他

専門学校 松山看護専門学校、愛媛十全医療学院、河原デザインアート専門学校、河原電子ビジネス専門学校、大阪ビューティーアート専門学校他

進路に関するホームルームや進路座談会等、卒業後の進路について考える機会をたくさん設けています。面接や小論文の指導は個別に対応します。

<ホームページアドレス> <http://matsuyamahigashi-h-c.esnet.ed.jp/>

